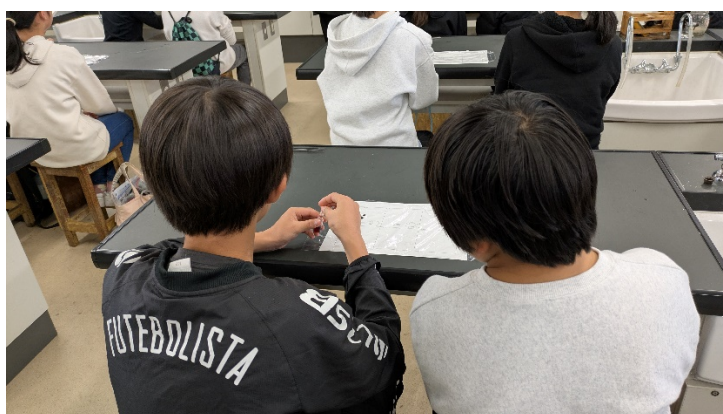
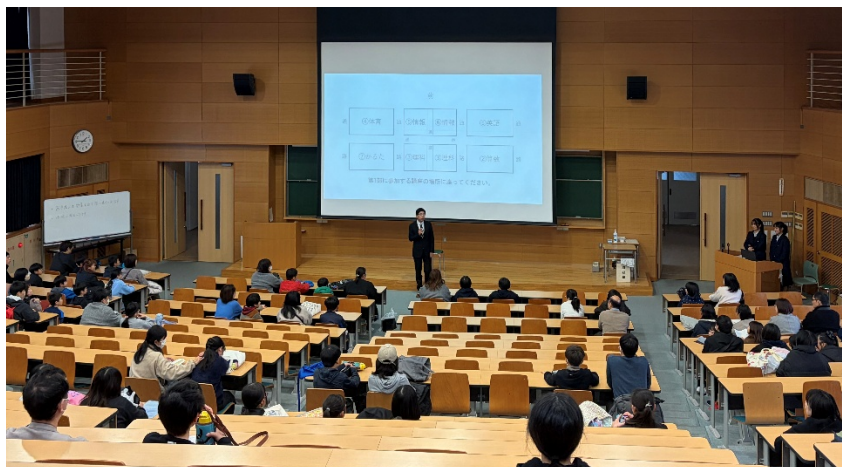


小高連携 いきいき学習

はじめに

姫路西高校の生徒たちが、地域の小学生たちに学習の楽しさを伝えるため、「小高連携いきいき学習」を2025年12月20日(土曜日)に本校で実施しました。この記事では、講座の様子を写真と小学生へのアンケート、担当した本校生徒スタッフのレポート(いずれも抜粋)を通してお伝えします。

なお、小学生と本校生徒の文は、表現を変えているところがあります。



① 社会:地図と地名からわかる姫路の歴史

[小学生のアンケートから]

「昔の地図と今の地図がおもったよりちがっていてびっくりした。おもしろかった。」

「地図をつくることができた。地名のよみかたがわかった。むかしの地図が今とぜんぜんちがうからおどろいた。」

「姫路市の地図を見て、昔の地図と現在の地図はほぼ場所や地名がいっしょだということが分かった。」

「西高は昔中学校だったことがわかった。」

[高校生スタッフのレポートから]

子供と話すのが苦手だったが、初対面でもかなり話せるようになり、やってみることが大切だと考えた。受付の際、保護者や小学生の子たちと目を合わせて敬語でしっかり話すことで人と対話することの大切さについて考えた。道案内など、わかりやすさが必要なことは身振り手振りが大切だと考えた。

前半は受付や案内などを行ったが、こういう隠れた実施部隊がいるからこそどんな行事も成り立っているのだと改めて気づいた。

当日の授業手伝いだけでなく、下準備や受付など幅広い仕事を体験することができた。学年を超えた協力が貴重な経験となった。帰るときの小学生が満足そうで、非常に達成感があつた。協力してできて良かった。

② 算数:算数パズルで遊ぼう

[小学生のアンケートから]

「きそくがあることが分かった。右につんだものをまん中にいどうすることができた。何こつんだかによってまん中に動かすか左に動かすか分かった。」

「自分で考えて規則性を見つけることができた。」

「規則を見つけてそれを表に書くと、答えを出すことができるようになった。」

[高校生スタッフのレポートから]

いつも教えてもらう側の立場だから分からなかったけれど、教えるということは一筋縄ではいなくて、難しかった。特に、小学生が答えにたどり着く援助をするというのに苦戦した。単純に答えを喋るより断然難しかった。しかし、教えるということは楽しいとも思った。なんとかして、小学生が答えを導いてくれると、本当に嬉しくて、やはり私は教育の現場に携わってみたいんだなと思った。

かつて私が小学生の頃に西高で小高連携いきいき学習に参加した時も今回と同じ「ハノイの塔」をおこない、以前は教わる側であった私が今日は教える側として体験し、とても感慨深く思った。今回の体験を通じて、このような小学生と高校生が関わるイベントはとても貴重でこれからも残していくべきだと考えました。

わかりやすい言葉で伝えるのは少し難しかったけれど、分かった！と言ってくれた時とても達成感があったので来年もやりたい。

③ 理科：身の回りの物の変化

[小学生のアンケートから]

「薬品の名前や特ちょう・性質が分かった。実験をする時は先生の話聞くことが大切だと分かった。」

「火の色はどうして赤なのか、どうして青にかわったのか、分かりました。」

「いつも飲んでいる水道水に、水以外のものが入っていておどろいた。」

[高校生スタッフのレポートから]

実験結果について、小学生はいろんな発想をしてくれたが、もちろん間違っているであろうものもあった。しかし、それを間違いとして突っぱねることはよくないと感じたため、上手に対応しようと

考えたが、適切な声掛けが難しく、曖昧な返事になってしまった部分があった。どうすれば思考力や好奇心をつぶさないように、正しい知識を伝えられるか、それが難しいと感じた。

自分がわかっていることでも小学生に教えるのは難しかったです。小さい子と一緒に実験をしたり、自分が教えたり実験をサポートする側になるのはあまりないことなので貴重な経験だったし、すごく勉強になりました。



④ 体育: ボールを使ってからだを動かそう

[小学生のアンケートから]

「こうこう生はこんな楽しいことやむずかしいところをがんばっているんだなと分かってきた。」

「みんなでボールをゴールに入れたり、なげたり、ドリブルしたりした。むずかしかったけれど、何回もやるとできるようになってうれしかった。」

「みんながやさしくしてくれたから、上手になれた。おしえてくれた人の説明がとっても分かりやすかった。」

「はしったり、ボールをつかっていろいろなあそびがあることを知った。たのしかった。」

[高校生スタッフのレポートから]

小学生に説明して反応がなかった時、「聞いているのかな、伝わっているのかな」と思い、言葉選びが難しく感じた。また、体育でボールを使っているので、他の子とぶつからないか心配になり、目が離せなかった。そういうところを考えると、学校の先生はとても大変で苦労しているのだと思った。

自分が伝わるだろうと考えていたことでも、実際小学生に言ってみたら思い通りにいかないことが多くて難しかった。だからこそ、上手くいったとき、小学生が楽しそうにしてくれたとき、ほんとうにうれしかった。

今回の体験を通じて、教えることの難しさと楽しさを学んだ。運動の説明をする時は、言葉だけでなく動きを見せることが大切だと思った。また、一人ひとりの得意・不得意が違うため、相手に合

わせた声掛けをすることの重要性も感じた。このボランティアを通じて、人に教える経験ができただけでなく、相手の立場に立って考える力が身についた。

⑤ 英語: Christmas Lesson

[小学生のアンケートから]

「人と楽しく交流する機会がふえて人々と話せるようになった。」

「クリスマスの中の知らないたんごが分かるようになった。まわりの人たちがしっかりおしえてくれて、うれしかった。」

「知らなかった単語が分かるようになった(書けるようになった)。日本語と語順がちがうからすこしむずかしかった。」

「英語で手紙が書けるようになった。」「英語が好きになった。」

[高校生スタッフのレポートから]

普段は小学生と関わる機会が無いので、講座が英語だったこともあり、何を言うとかよく伝わるか、たくさん考えながら話をした。初めは関わり方が難しいと感じましたが、私も成長できた良い機会になった。



小学生たちに楽しんでもらえるように、明るく笑顔で接することを心掛けた。レッスンで、小学生が真剣に先生の話の聞き、楽しみながら英語を学んでいる姿が印象に残っている。また、サンタさんへ手紙を書いているときや、クリスマスビンゴをしているときなどで、小学生の笑顔がたくさん見えてとても嬉しくなった。

⑥ 情報:プログラミング

[小学生のアンケートから]

「プログラミングのきそ、どう動くのか仕組みが分かった。まちがっても、しこうさくごして成功したときうれしかった。」

「今日の講座では、プログラミングのポイントを見つけることができた。プログラミングでは、頭をやわらかくすることが大切だと分かった。」

「ぼくはスクラッチをしている。この学習はスクラッチにつながったのでよかった。」

「プログラミングの本家、マイクラでたのしく学べてとてもたのしかった。」

[高校生スタッフのレポートから]

今回の体験を通して一番に小学生とかかわる難しさを感じた。一人一人の進行具合や性格を見ながら関わっていかなければならなかった。どうすればわかりやすく物事を伝えていけるかが重要視される場面を知る良い機会になった。

書いていることをそのまま言うだけでは小学生はあまり聞いてくれない。自分の言葉で説明するのは、知識もいる。とても難しかった。社会に出た時には、プレゼンスキルもいると思う。このような経験ができてよかった。またいつも授業してくれている先生たちの準備の大変さもわかった。

ミッションを達成した小学生に、どうやって達成したのかと手段や理由を聞いてみると、ある程度回答できていたところを見るに、そこが「センス」なのだろうと思う。これからの「データ時代」の即戦力になっていく小学生たちと一緒に学習できたことはいい経験だった。

⑦ かるた:競技かるた入門

[小学生のアンケートから]

「かるたをするときのかまえや、はらい方がわかった。」

「百人一首のかまえや、はやく札を取るポイントを意識しながら試合をすることができた。」

「本格的に教えてもらったことがなかったので、とてもわくわくした。」

「家でも練習したいと思った。」

「おてほんがとてもはく力があってすごいと思った。」

[高校生スタッフのレポートから]

小学生が札を取ることができ、喜んでいる姿を見て、かるたの楽しさが伝わったのではないかと思います、幸せになった。

かるたを経験したことがない人に教えることはとても難しかった。どうやったらうまく伝わるかわからず、最初は戸惑った部分もあった。しかし、終わった後の感想で、「家でも練習してみたい」とか「かるたが楽しかった」など、少しでもかるたに興味を持ってもらえたことがとても嬉しかった。

かるたを小学生に教えるということが初めてだった。どうすれば分かりやすく伝えられるか、かるたの魅力を知って、楽しんでもらえるのか分からなかった。とても難しく、悩みながらの進行になってしまった。同時に小学生が楽しそうにかるたをしていたり、教えていくごとにどんどん上手になっていたりするところを見てとても嬉しくなった。

さいごに

この「いきいき学習」を多くの小学生が楽しんでもくれたようです。また、高校生も小学生の学習を支援する経験を通じて成長しました。

ご支援、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

